

給食費支援状況アンケートのまとめ

社民党長野県連合は、給食費の支援状況について2017年に各自治体に対してアンケート調査を行った。そのアンケートの結果を報告する。なお、現時点でアンケートの回答のない自治体は佐久市、小海町、川上村である。引き続きお願いをしていく。

1、給食費については、小学校低学年と高学年、中学校で金額が異なる。小学校低では、250円が木島平村と豊丘村、伊那市でもっとも低い。もっとも高い自治体は小谷村の295円。高学年では長和町が300円。中学校では、もっとも低いのが285円で木島平村、御代田町、高いのは340円で小谷村と茅野市です。

2、集金方法は、ほとんどの学校が口座振替になっています。未納対策としては、学校が対応（木島平村、中野市、山ノ内町）、役場対応（坂城町）、教育委員会対応（下条村、喬木村）、給食費未納対策委員会（伊那市）、督促にも応じない場合民事訴訟（駒ヶ根市）。

3、就学援助者に対して、全額補助（信濃町、飯綱町、千曲市、坂城町、上田市、南牧村）、9割補助（茅野市）、8割補助（岡谷市）、7割補助（小谷村、高森町、下条村）、6割補助（塩尻市、阿智村）、5割補助（東御市、生坂村）、そのほかは標準額小学校51,000円、中学校60,000円の補助と思われる。

4、独自の支援策については以下の通りである。

栄村	一食につき100円補助
山ノ内町	全体で200万円補助
南牧村	地元のヤツレンのヨーグルト代月1回補助
大町市	地産地消補助
池田町・松川村	全児童・生徒に年間1万円補助
小谷村	小学校一食20円、中学校一食25円補助
塩尻市	地産地消補助で米粉パンの食材費一人143円
上松町	米飯加工賃補助、米代上松産と標準米の差額補助
南木曾町	米代全額補助
木曾町	小学校年5万円、中学校年6万円を超える部分、地元産米支給（年484万9千円）
木祖村	一部地元産米公費購入（平成28年度米の1/3）
大桑村	米代補助 小88万円 中96万円
原村	平成28年度から全児童・生徒に一食10円
南箕輪村	全児童・生徒に2000円。

宮田村	村の減農薬米、県内産牛乳を使用しており、給食会からの単価より高いため差額を村で補助している。
松川町	米代 1 / 4 110 万円 牛乳 4 円 25 万円
高森町	地元産の市田牛乳を使用しているため差額の 2657 千円 / 年を負担。
阿南町	5 割補助 9,139,000 円
平谷村	無償化 147 万円
根羽村	牛乳・ヨーグルト代の一部補助
阿智村	米代と地域食材の日 / 月 1 回分 (年 12 回) を補助
下条村	小中とも 7 割補助 1300 万円 / 年
売木村	無償化 217 万 7 千円
天龍村	平成 29 年度から無償化
泰阜村	半額補助 377 万円
喬木村	村の食材利用 価格対策年間 150 万円
豊丘村	米代 250 万円 松茸代 20 万円
大鹿村	半額補助 小学校一食 140 円 (年 971,040 円) 中学校一食 150 円 (年 673,200 円)

5、今後支援策を検討している自治体は以下の通りである。

高山村、佐久穂町、軽井沢町、大町市、塩尻市 (就学援助者への支援を 6 割から 8 割へ)、上松町、木曾町 (幼稚園について公費負担)、木祖村、飯田市、松川町、阿智村

6、その他

山ノ内町	地産地消の観点から地元食材を優先的に利用している。
長野市	29 年度からアレルギー対応
信濃町	小中一貫校自校方式 教材費無償 小 9000 円 中 17000 円
飯綱町	教材費の無償化を検討
安曇野市	公会計化を検討
松本市	公会計化を検討
上松町	保育園は全額無償化
富士見町	地域食材利用
中川村	パンの輸送費、米粉パン普及促進補助 放射性物質含有検査料金

以上